

シリーズ 景観 77

市は「住むひとが誇りと愛着を感じ、訪ねるひとの心に残る松江の景観づくり」を推進しています。



(天守から宍道湖を望む)



松江城

「みんなで残したい松江の景観400選集」から
景観審議会が特にお薦めする景観

No. 251

松江城は全国に現存する12天守のうち5番目の国宝天守で、その文化財としての価値はさることながら、城下町松江のシンボルとして松江市固有の景観を代表する特徴的な要素のひとつとなっています。

市では、固有の美しく風格のある景観を守り、開発と保全の調和のとれた魅力あるまちを育て後世に伝えることを目的に平成19年3月に松江市景観計画を策定し、市内全域にゆるやかな景観形成基準を定めて良好な景観形成の促進を図っています。

この計画では松江城を主要な展望地として定め、建築物などを建てるにあたっては「天守から見える東西南北の山の稜線の眺望を妨げない」「天守から宍道湖の湖面が見える範囲で嫁ヶ島の水際線を延長した線を侵さない」よう規制・誘導することで良好な眺望景観を守ることとしています。

天守最上階の望楼からは市街地を360度見渡せ、周田を取り巻く山々や宍道湖に浮かぶ嫁ヶ島などを一望することができます。市民共有の財産として後世に継承していきたい松江の景観のひとつです。

「みんなで残したい松江の景観400選集」は、市ホームページでご覧いただけます。
【問い合わせ】まちづくり文化財課 ☎55-5387

松江の景観400選 検索